

近年、地球規模の気候の変動により、猛烈な台風や豪雨による風水害が頻発しています。風水害を正しく理解して、対策を考えましょう。

松伏町の洪水の想定

松伏町洪水ハザードマップは、町民の皆さんの被害を最小限にすることを目的とした地図です。

洪水・氾濫に関する情報と避難方法を知ること、日頃からの防災意識が高まり、いざという時の安全かつスムーズな避難行動につながります。

河川が氾濫した場合、浸水する範囲や深さを予想した浸水情報、氾濫時の避難場所、水害に対する知識や心得など、浸水が想定される区域からの安全な避難に必要な各種の情報を、わかりやすく表示しています。



対象となる河川

松伏町の洪水の想定は、国または県が、浸水のおそれのある区域を公表した利根川、江戸川、中川、荒川、大落古利根川、元荒川、新方川を対象としています。

河川の大きさや整備の状況により異なりますが、大雨で堤防が壊れたり、水があふれたりする洪水を被害想定としています。

●利根川、江戸川

利根川流域、八斗島(ヤッタジマ)上流域の72時間総雨量491mm

●中川

中川・綾瀬川流域の48時間総雨量596mm

●荒川

荒川流域の72時間総雨量632mm

●中川流域の河川

中川流域の48時間総雨量596mm

※マップに示した浸水の予想される深さや範囲は、計算結果です。雨の降り方によっては、浸水の想定されていない地域で浸水したり、想定される深さが実際の深さと異なる場合があります。



洪水ハザードマップの使い方

洪水ハザードマップは、被害を最小限にすることを目的とした地図です。洪水に関する情報や避難方法などの知識を得ることで、日頃からの防災意識が高まり、被災時に避難行動がスムーズに行われます。

洪水は事前の準備ができる災害です。ハザードマップで避難経路や危険箇所を確認、物資の準備等や情報収集を行い、いざという時の安全性を高めましょう。

1 身近で起こりやすい水害のリスクを知りましょう

自宅周辺や学校等の生活圏が掲載されているハザードマップを見て、浸水想定区域内であるか、浸水の程度や継続時間はどのように想定されているか、確認しましょう。

2 避難の方法を検討しましょう

ハザードマップで自宅と避難所を確認して、避難経路を検討しましょう。また、実際に歩いてみて、危険な箇所はないか確認しましょう。

3 洪水に備えましょう

備蓄品等の物資の準備はもちろん、家の補強や家族での連絡方法等の確認を事前に行うことで、被害を最小限にすることができます。また、マイ・タイムライン(P45参照)を作成して、いざという時に慌てることがないようにしましょう。

松伏町で想定される風水害

◆外水氾濫

外水氾濫は、大雨などで河川の水位が増し、堤防の決壊や越流などで大量の水が市街地等に流れ込み、短時間で住宅などへ浸水して人的・物的被害を発生させます。

近くで大雨が降っていないくても、河川の上流域で大雨が降ると、下流の水位が上昇して、外水氾濫が発生することもあります。

◆内水氾濫

下水道などの排水能力を超える大雨や、河川の水位が上昇することで「内水」が排水できず、マンホールなどから水が溢れて、土地や道路などに浸水することを「内水氾濫」といいます。

集中豪雨のような局地的な大雨による内水氾濫は、都市型水害の典型といえます。

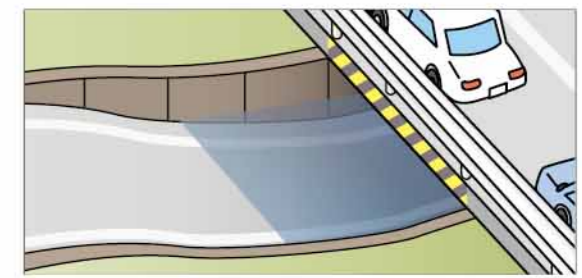
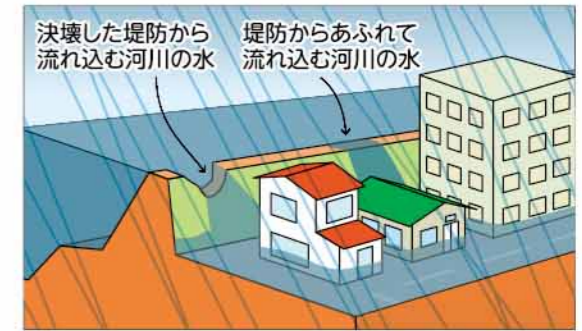
※洪水ハザードマップに示されている「道路浸水箇所(近年の浸水実績)」は、道路浸水箇所を予測したものではないことから、土地の利用状況の変化、降雨量や雨の降り方の違いなどによって道路浸水箇所が表示されていない箇所でも浸水が発生する可能性があります。

道路浸水箇所が表示されていない箇所においても気象情報や周辺の状況に注意して行動しましょう。

◆低い道路などの冠水

急激な大雨で、ポンプや排水路などの排水能力を超えた場合に、低い道路やアンダーパス(道路や鉄道などの地下をくぐって抜ける道路で、周囲に比べて地面が低くなっている区間)が冠水することがあります。

浸水している場所に車で進入すると、エンジンが停止して立往生してしまい、水没するなど大変危険です。



雨の降り方と雨量の関係

	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm	非常に激しい雨 50~80mm	猛烈な雨 80mm以上
予報用語 1時間雨量 (mm)					
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようなになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車の運転は	-		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる	車の運転は危険